

せいらんそう

社会福祉法人
芳香会誌
第23号
2013年9月発行



頑張っています、言語聴覚士との訓練
青嵐荘つくし園

もくじ CONTENTS

復興を願って . . . 2
～被災地支援活動～

生き直しが出来る地域社会 . . . 3

委員会トピックス . . . 3
個人情報保護推進委員会

障害児・者施設トピックス . . . 4

青嵐荘療護園
青嵐荘療育園
青嵐荘つくし園
青嵐荘路のとう舎



芳香会からのお知らせ . . . 5

第2回 地域づくり講演会
第1回 親子わいわいコンサート
オリジナル体操「歌詞」募集
平成26年度採用職員募集

芳香会活動報告 . . . 6
芳香会スケジュール . . . 6
編集後記 . . . 6

2011年3月11日に発生した東日本大震災において被災された皆様に、改めて心よりお見舞い申し上げますとともに、当法人も引き続き復興に向けた支援活動に取り組んでまいります。



復興を願って

被災地支援活動



芳香会では東日本大震災被災地支援を継続しています。現在は生活不活性化を防ぐために、岩手県上閉伊郡大槌町の地域包括支援センターとタイアップし、社会福祉士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、介護福祉士の専門職を派遣し、仮設住宅を訪問、また、地域の集まりに参加し、個別相談を受ける等の活動をしています。

二十五年度の派遣は、三名ずつ全部で六回、合計十八名を予定しております。その他、第四・五陣には、県立医療大学学生さんにボランティアとして二名ずつ計四名ご参加頂き、感想を頂きました。

第6陣	第5陣	第4陣	第3陣	第2陣	第1陣
10/28 ～11/1	9/23 ～27	8/26 ～8/30	7/29 ～8/20	7/1 ～5	6/3 ～7

平成25年度 岩手県大槌町への支援活動

【茨城県立医療大学 保健医療学部 理学療法学科 三年生】

岩手県大槌町でのボランティアである一つの仮設住宅を訪れた。楽々体操教室中には、参加者は指導員に従って元気に体操を行っていた。高齢者が多く、体力の衰えがあったりひきこもりがちになっていたりするのかと予想していたが、そのようなことはなく、皆明るく会話を楽しんでいるのが印象的だった。また体操終了後も部屋に残って会話を続ける人が多かった。意外だったのが持病を持っている方が多く、身体に関する悩みを抱えていて、理学療法士に個別で相談していたことだ。自らの症状を改善

するのが難しく相談する人が近くにいないため解決に至らないのだと思う。私はこの経験から、仮設全体の雰囲気作りと相談する場を定期的に設けることが大切だと学んだ。仮設住宅内でのイベントを利用し、活気付けをすることが大切だ。またその機会に専門職が被災者の声を聴く時間を充分にとり少しでも安心した生活が送れるようにすべきだ。それが私達が支援する上で一番重要な事だからだ。

【茨城県立医療大学 保健医療学部 理学療法学科 三年生】

私は今回、芳香会の理学療法士さんの被災地支援活動に参加させて頂きました。支援活動では、仮設住宅や地域で暮らしているお宅を一軒一軒訪問し、体操教室の案内、体操教室での体操指導や個別相談への対応をしました。肩や腰の痛み、痺れといった個々の相談に丁寧に対応されている芳香会の職員の方の姿に憧れを感じました。そして、理学療法士の専門性を活かせることがあるのだと改めて分かりました。仮設住宅で生活されている方のお話を聞いていても、震災の津波の記憶は忘れることはないのだろうと感じました。それでも、きちんと前へ進んでいこうという姿を見て、これからも応援していきたいと思いました。今回、貴重な機会を与え、指導して下さった芳香会の皆さま、そして貴重なお話をさせて頂いた大槌町の方々に感謝申し上げます。



【青嵐荘療育園 幸田管理栄養士】

この支援活動への参加にあたり、法人の栄養士全員で話し合い「パッククッキング」が役立つのではという事になりました。活動初日に仮設住宅の談話室を訪問された方に資料をお配りすると興味を示して下さい、翌日から実演をしました。とても好評で、中には「もっと早く知っていたら震災の時に活用できたのに」との声も聞かれました。被災地の方々の笑顔がとても印象的で、震災というとても辛い悲しみを乗り越えて立ち上がった人達の強さは私達には敵わないものだと感じました。被災地の方々の笑顔が曇ることのないように、今後も様々な形で支援を続けたいと思っています。参加させて頂き有難うございました。



【青嵐荘特別養護老人ホーム 小島介護福祉士】

介護福祉士として被災地支援活動に参加し、仮設住宅とその周辺の在宅の訪問や体操教室のお手伝いをさせて頂きました。体操教室に参加された方が涙ながらに語られていた、震災当時について、目の前で家族が流されてしまった話や、津波を防ぐための堤防があるせいで、その堤防を越えてくるような大きな津波が見えなかった話、津波で流された車やガソリンスタンドのガソリンに引火し火の海を初めて見たと言う話は、私自身、ただうなずき傾聴させて頂く事しかできませんでした。初めて被災地支援活動に参加させて頂きましたが、一生忘れることが出来ないとても貴重な経験になりました。有難うございました。

生き直しが出来る地域社会

～私たちに出来る司法福祉の実践～

芳香会では、平成二十二年十一月に茨城県から「茨城県地域生活定着支援センター」を受託したことをきっかけとし、様々な更生保護事業に携わらせていただいております。

芳香会の活動実績を報告することで皆様にも少しでも「更生保護」についてご理解いただき、この小さな活動が大きな輪となり、生き直しが出来る地域社会作りに貢献できれば幸いです。

立ち直るために！

社会参加

社会貢献活動とは、保護観察中の人たちが地域社会に貢献する活動を行うことを通じて、立ち直ることを目的としています。社会の役に立つ体験を通じて、人の役に立てるといふ感情や社会のルールを守る意識を育みます。

(法務省保護局)

芳香会では、平成二十三年度から活動に協力しております。年三回、対象となる方が保護観察官、保護司の同行のもと参加され、リサイクル活動や花壇整備、市道のゴミ拾い等を職員・利用者とともに行ってまいります。

毎回、対象となる方は一所懸命に参加され、「社会の役に立ちたい」という意気込みが感じられます。社会貢献活動が地域でやり直さきっかけとなり、社会生活に生きがいや意欲を持てるよう、私たちも一緒に考えていきます。

安心できる居場所と福祉

自立準備ホーム

◆更生保護施設：法務大臣の認可を受けて運営している施設で、あやまちを犯した人たちが集団で生活し、その自立に向けた生活指導などを行う専門職が配置されています。

◆自立準備ホーム：あらかじめ保護観察所に登録されたNPO法人や社会福祉法人などが、それぞれの特長を生かして、自立を促します。

(法務省 保護局)

芳香会も平成二十四年度から自立準備ホームとして登録し、福祉の支援が必要な方たちの一時的な居場所として協力しております。

登録を開始し現在まで二名の方を受け入れておりますが、利用される方々はこれまでも福祉の支援が必要であったにも関わらず、福祉へ繋がる術がなく行き場をなくしてきた方たちであり、適切な福祉の支援を受けることで安心・安定した生活を営むことが出来るようになります。今後も、必要な方に必要な福祉が届くよう、この制度に協力し、様々な社会福祉関係者にもご理解・ご協力を仰げるように努めます。

働いて社会復帰を！

協力雇用主



芳香会は協力雇用主として保護観察所に登録しております。これまでに二名の雇用をさせていただき、保護観察所のご指導のもと、立ち直りが出来るようご本人とともに頑張っております。なかなか思うようにいかないこともあります。芳香会での就労経験がご本人のその後の社会生活に活かせるよう、職員も一丸となつて社会復帰の支援をさせていただいております。

個人情報保護推進委員会 トピックス

個人情報保護法が平成十七年四月に全面施行され今年度で九年目になります。私達は、多くのご利用者・ご家族を始め他人が容易には知れない個人情報を保有しています。法律の施行後改めて今日まで個人情報保護に取り組んでおり、その歩みの中で個人情報保護推進委員会は平成二十一年四月に発足しました。管理責任者である理事長を筆頭に法人全体の体制が執られる中、四名の推進委員が個人情報に関する意思決定機関として委員会活動を行っています。活動内容は、個人情報管理に関する取組の計画立案を始めセキュリティ対策等になります。中でも法人内研修を年間三回行っており、その中の一つである新入職員対象の研修会をご紹介します。

今年度六月に市内温水プールの会議室を会場とし二十三名の職員が受講しました。内容は芳香会職員として知っておかなければならない入門編です。DVDの視聴を始め基本方針と管理規定、個人情報を守る組織づくりと題した外部講師による講義、法人内事業所の身近な事例から学ぶ講義で構成し、今回は分かりやすいをポイントに行ったところです。今後も個人情報に対する個々の理解・意識の大切さを伝えられる研修会を行っていきたいと考えています。

個人情報保護推進委員会 たま保育園

園長 西村 孝



障害児・者施設トピックス

折り紙名人誕生！

青嵐荘療養園



青嵐荘療養園では、ご利用者の社会参加の一環として、古河市が主催する『まなびピアこが』に継続して参加しています。今年度前期は『基本の折り紙作り講座』へ二名のご利用者が参加しました。更に今回は、昨年十一月に來園したEPA介護福祉士候補生の二名にも付添いをお願いし、日本文化の一つである折り紙に親しんで貰う機会としました。



梅雨や七夕などの季節にちなんだ作品からアニメのキャラクターまで、バラエティに富んだテーマ設定で、沢山の作品を仕上げました。候補生の二名も色紙や六色箱など難易度の高い作品へ果敢に挑戦しながら楽しんでる様子です。これらの作品は療養園玄関に展示しておりますので、お立ち寄りの際には是非ご覧下さい。今後も、社会参加の視点を持ち続け、様々な機会を活用して参りたいと思います。

元気に働く為に

青嵐荘療養園



八月一日から職員腰痛予防の取り組みとして、ラジオ体操を行っています。ところで、ラジオ体操の発祥について皆さんご存知でしょうか。一九二五年アメリカの生命

保険会社が「人々に元気で長生きしてほしい」という目的でラジオ放送を介して始まり、三年後、日本にやってきました。

療養園でもラジオ体操でおなじみのあの曲が流れると、自然と体が動き、職員も入所者様と共に楽しみながら体操をしています。ラジオ体操を始めて二ヶ月。その効果かはわかりませんが、職員からは「少し痩せた」「体が軽くなった」との声が聞こえています。ラジオ体操のテーマでもある「いつでもどこでも誰でも」をモットーに今後も職員一丸となって腰痛ゼロの職場を目指して継続して行っていきたいと考えています。



自分らしく生きる

青嵐荘つくし園



つくし園を利用されている方は、生まれつきの障害、病気や事故などで心身に重度の障害をもつ方達です。最近では作業療法士が主となり、作業による効果を期待する『リハビリ』であるアクティビティを取り入れています。目的・目標を明確に持ち、その方の評価も行います。塗り絵や張り子、ちぎり絵、手芸、壁画作り等の作業活動から姿勢保持や手の巧緻性などの機能訓練だけではなく、精神の安定などにもつながっています。作業内容は重度な障害を持つ方にとっては、試行錯誤しながら決定しなければなりません。『私、画伯になりたい』



というご利用者もおり、活動を通して新たな才能を発見する事もあります。自分を表現する力、これはアクティビティから見えた強みでもあり、機能訓練だけではなくアクティビティを取り入れることの重要性を感じています。今後も、『自分らしく生きること』に重点を置き、一人一人に合わせた豊かな人生を過ごせるよう尽力して行きたいと思っています。

私たちはプロです

青嵐荘路のとう舎



青嵐荘路のとう舎では、ご利用者の日中活動の一つとして野菜・花の栽培を行っており、リサイクル活動にご協力いただいている方に「ありがとうフラワー」として配布、野菜はご家族、職員に販売を行ってきました。そして、これまでの経験に元々、新たな分野の部品の袋詰めの内職作業を請け負い始めました。内職作業開始当初は失敗の連続でしたが、試行錯誤を繰り返して、今では「今日の仕事はどんな種類？袋詰め？ゴム止め？」そのような会話も聞かれるほどになりました。また仕事の時の表情はまさに真剣そのもの。今まで見たこともない表情で男性六名で内職作業に取り組んでいきます。近い将来、自分で働いて得たお金で好きな場所にいき、好きな物を購入する日がやってくることでしよう。近隣の工場・会社の皆様、今後もお仕事を紹介して頂けると幸いです。これからも、ご利用者が最大限に力を発揮できるような環境作りを目指していきます。



NEWS 芳香会からのお知らせ

芳香会では、平成二十五年度の後半も、さまざまな活動を実施して参ります。そこで、ここではその活動のお知らせを掲載いたします。

第2回 社会福祉法人から発信する 地域づくり講演会

平成二十三年度に引き続き、第二回

目の「社会福祉法人から発信する地域づくり講演会」を開催致します。個人では解決できない問題に直面したとき、地域の絆が欠かせない力となります。現在申込受付中。お申込み方法の詳細は、芳香会ホームページを御参照下さい。



【日時】平成二十五年十月二十六日（土）

十時開会 十二時三十分終了

【会場】とねミドリ館（生涯学習センター総和）

【内容】1. 安梅 勅江 教授 講演

筑波大学大学院 人間総合学科研究科 教授
国際保健福祉システム学会 会長
日本テレビ系「世界一受けたい授業」出演
（平成二十五年五月十八日放送）

2. 青嵐 荘エコ・リサイクル委員会

活動報告

是非、ご参加いただき「地域づくり」の醍醐味を感じ取っていただけると幸いです。ご参加をお待ちしております。

社会福祉法人 芳香会 平成26年度採用予定者 職員募集！

芳香会では、特別養護老人ホームや障害者支援施設等で職員を募集しています。人との関わりが好きな方、得意とする方は、是非お申込をお待ちしています！！

○募集人員○

介護職 計10名程度

○勤務地○

古河市上大野、尾崎
結城市七五三場

○応募条件○

まずは施設見学会にご参加下さい。見学会・採用試験の日程は、芳香会ホームページをご覧ください。

○その他○

資格のない方でも申込可能です。但し、資格により基本給が異なります。また配属先は、面接試験の結果により決定します。

第1回 親子わいわいコンサート

当法人内事業所内保育施設「ひばり」「ツグミ」の主催によるコンサートを開催致します。歌のお兄さん、お姉さん、うさぎのクッキーちゃんと一緒に楽しめるイベントです。ご参加をお待ちしています。

【日時】平成二十五年十一月 九日（土）

十時三十分開会 十一時四十五分終了

【会場】芳香会 地域交流ホーム

【対象】①、②の定員五十組の親子

① ひばり・ツグミの利用児及び卒園児

② たま保育園・牛ヶ谷保育園の一時預かり児

【内容】まちのおんがくやさん公演 など

オリジナル体操「歌詞」大募集

芳香会ではみんなで一緒にできるオリジナル体操作りに取り組んでいます。この体操は親しみやすいメロディーで体の状態にあわせて体操を選ぶことができるという特徴があります。この体操の歌詞をみなさまと一緒に考えたく、「歌詞の募集」を行います。

【募集内容・申込方法】

日常の風景、歴史や特産物、地域や芳香会への思いなど何でも、歌詞の長さもひと言、一曲分まで自由です。歌詞をご記入のうえ、FAX、郵便、メール、手渡し等で担当者までお願いします。



いずれも下記までご連絡・お問合せ下さい。

【お問合せ・ご連絡先】

社会福祉法人芳香会 法人本部事務局

電話 : 0280 - 97 - 1027

FAX : 0280 - 97 - 1112

メール : honbu@houkoukai.or.jp

URL : <http://www.houkoukai.or.jp>

芳香会活動報告



EPA受入 第三弾へ
～フィリピン現地合同説明会～



平成二十五年八月二十八、二十九日、フィリピン・マニラで開催されました現地合同説明会に、青嵐荘特別養護老人ホームのEPA介護福祉士候補生二名を含む総勢六名にて参加を致しました。



説明会場内はタガログ語、英語、日本語が飛び交い、多くの参加者で溢れていました。当法人ブースには二日間で一、二名の方が訪れ、どの参加者からも「日本で働きたい、仕事の内容を知りたい」という強い思いが感じ取れました。参加した皆さんの積極的に発言する姿に、改めて身の引き締まる思いが致しました。

今回の渡航を通じ、EPA介護福祉士候補生と直接触れ合えたこと、そしてフィリピン国の理解をより一層深めたことは、我々受入側の意識を再考する機会となりました。平成二十六年度には、青嵐荘ケア・アシスタンスでの受入へ向け、この経験を活かして参ります。



国際福祉機器展に参加して



平成二十五年九月十八日に開催された第四十回国際福祉機器展にて、「上大野・稲宮地区の老人クラブとの交流を中心に、芳香会の地域貢

献活動」について発表を行いました。

青嵐荘ケア・アシスタンスでは、平成二十一年度から老人クラブとの交流を開始し、今年で五年目になります。初めは交流会の実施から行い、現在ではリハビリ教室や花壇の整備活動など、様々な活動を展開することができています。今回の国際福祉機器展内で報告をさせて頂くにあたって、老人クラブの皆さんを始めとした「地域の方々との歩み」を振り返る大変良い機会となり、多くのご協力に感謝する次第です。



交流会の様子

また、全国の医療機関や福祉施設の地域貢献活動を伺うことができ、とても刺激になりました。今後とも、芳香会の活動へご協力の程宜しくお願い致します。

青嵐荘ケア・アシスタンス 稲葉支援相談員



芳香会スケジュール

十月 八日	介護保険施設等実地指導
十月 九日	交通安全講習会
十月 中旬	第二回 青嵐荘C.G作戦
十月 中旬	秋季 上大野花壇植栽活動
十月 十八日	郡山市へひまわりの種を届ける(つながりふくしま協力)
十月 二十六日	第二回 地域づくり講演会
十月 二十八日	リハ専門職被災地支援活動
十一月 一日	第六陣
十一月 五、六日	リーダー職員研修会
十一月 九日	親子わいわいコンサート
十一月 十三日	第二回 芳香会移動献血事業

編集後記

先日、札幌へ行って来ました。列車の環境が心配でしたが、乗車した電車に問題はありませんでした。しかし後日の報道に驚きました。【乗客の命を守ることはこの次】。立場は違っても自分の仕事の責任を果たすことの大切さを胸中に刻んだ出来事でした。(光)

二〇二〇年東京五輪が決定しました。七年后、日本はどうなっているのでしょうか？被災地復興は進んでいるのでしょうか？そして自分の七年后は...〇歳。将来に思いを馳せつつ、スポーツの秋、頑張ります。(加)

秋の色も深まっております。気温やリンリンと鳴く鈴虫等、色々な場面から季節がピツクアッできます。学問の秋を目指しますが近所のコンビニの看板で、季節に気が付くばかりでは、食欲まみれの秋ですね。(川)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。